



議会だより

2013.8
vol.39

ふじかわぐちこ



おめでとう!

富士山世界文化遺産登録

● こういうことをきめました	2P
● 代表質問	4P
● 一般質問	8P
● 委員会レポート	10P
● 議会改革	16P
● 議員視察	17P
● 窓	18P

平成25年第2回定例議会

こういうことを
決めました!

6月定例会において議会議員の多くの皆様のご推挙を賜り、第11代議長に就任いたしました。衷心より感謝申し上げ誠心誠意その任務に努める所存であります。

第一次総合計画後期基本計画並びに地域防災計画が出揃いました。町の

富士河口湖町議会議長

小川 清治

◆議長就任あいさつ



議長に
小川
清治氏

更なる発展と災害対策において重要なものだと考えております。また議会改革を推進すべく、議会基本条例の制定が委員会で検討されており、その完成が待たれております。

その様な中、6月22日に第37回ユネスコ国際会議で富士山が世界文化遺産に登録が決定されました。関係者の長年のご苦労と町民の皆様のご協力、ご理解が成し得た結果で、登録はこれからが始まりだと痛感しております。

この素晴らしい富士山の景観と文化を後世に語りつぎ、保全していく責任が我々に課されています。

来訪者の数は格段に増加し、海外からも大勢の方々が訪れるものと予想されます。快く迎ええるという姿勢が必要であり、景観、環境の保全も言うまでもありません。皆様には笑顔でのお迎えと町内の美化をお願い致します。

紙面をお借りしての非礼をお詫び申しあげるとともに、今後とも町民の皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます、就任のご挨拶いたします。

平成25年第2回富士河口湖町議会定例会を6月11日に開会し、会期を19日までの9日間と決めて、報告3件、権利の放棄1件、同意案件1件、条例の制定2件、条例の一部改正1件、補正予算16件を審議し、すべて原案どおり可決、承認して、6月19日に閉会しました。

平成25年度富士河口湖町一般会計補正予算(第3号) 1億2,212万円

- ・富士山世界文化遺産登録記念イベント…141万円
- ・スクールバス購入費…886万円
- ・塵芥処理場不燃物処理施設補修工事…1,020万円
- ・富士ヶ嶺パイオセンター液体処理プラント補修工事…1,180万円
- ・小中学校キュービクル改修工事…354万円
- ・道路改修及び拡幅工事…2,900万円

平成25年度富士河口湖町一般会計補正予算(第4号) 415万円

- ・富士河口湖町職員の給与の臨時特例に関する条例による減額…1,373万円
- ・財政調整基金積立金…1,373万円
- ・福祉システム改修費委託料…300万円

一般会計補正予算1億2,628万円の増額補正

一般会計補正予算 総額104億2,517万円

●報告及び承認 (3件)

- ▼平成24年度小立財産区特別会計予算繰越明許費繰越計算書
八木崎公園計画について、翌年度に繰り越す。
- ▼平成24年度勝山財産区特別会計予算繰越明許費繰越計算書
勝山ふれあいセンター駐車場整備について、翌年度に繰り越す。
- ▼平成24年度富士河口湖町一般会計予算繰越明許費繰越計算書
船津地区福祉センター整備、畑地帯総合整備事業、舗装、トンネル長寿命化計画策定事業、景観形成モデル事業について、翌年度に繰り越す。

●条例の制定 (2件)

- ▼富士河口湖町教育長の給与の臨時特例に関する条例の制定について
教育長の給与を25年7月から26年3月までの9か月間給与を一時削減するものです。
- ▼富士河口湖町職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について
東日本大震災以降増えている防災・減災、地域活性化の緊急課題に対応するため、25年7月から26年3月までの9か月間給与を一時削減するものです。

●特別会計補正予算 (10件)

- ▼平成25年度船津財産区特別会計補正予算(第1号)
船津分団指令兼パトロール車購入繰出金 天上山給水ポンプ修理繰出金
- ▼平成25年度勝山財産区特別会計補正予算(第1号)
勝山羽根子山整備基本計画策定繰出金 福祉センター解体工事設計委託及び地区公民館設計委託繰出金
他8件

●同意案件

- ◆船津財産区管理委員選任の同意
○梶原 義美 氏(船津)

●組合議会議員の選挙

- ◆鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会議員選挙
○渡辺 正利 氏(大嵐)

第2回臨時議会

第2回議会臨時会を4月10日に開会し、町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告及び承認、特別会計補正予算2件及び一般会計補正予算が提出され、慎重審議の結果、全員賛成で可決しました。

- ▼平成25年度小立財産区特別会計補正予算(第1号)
小立男子ミニバス大会遠征補助及びユニホーム購入補助への繰出金…43万円
- ▼平成25年度富士河口湖町温泉事業特別会計補正予算(第1号)
第2源泉の境界擁壁設計委託及び工事代…720万円
- ▼平成25年度富士河口湖町一般会計補正予算(第1号)
弁護士委託料…150万円

第3回臨時議会

第3回議会臨時会を5月10日に開会し、平成25年度富士河口湖町一般会計補正予算(第2号)が提出され、風疹予防接種委託375万円、勝山プール防護ネット補修工事299万円で慎重審議の結果、全員賛成で可決しました。

- ▼河口湖南中学校組合議会議員選挙
○渡辺 正利 氏(大嵐)

知りたい!

聞きたい!



親樹会

代表・関連質問

祝 富士山世界遺産登録



組をを何う。

環境課長 1万人清掃活動は3300人が参加し、不燃、可燃物合わせて6トン、外来種のアレチウリが63キロを回収することができた。今後も、この清掃活動が定着するよう取り組んでいく。

湖の保全

質問 明日の富士五湖創造会議の現況、湖の保全に対する町の考えと対応は。

政策財政課長 河川利用は、栈橋やボート係留場等河川占用のあり方、自然や文化財の保護活用についての意見交換、検討をした。

今後とも継続して地域住民や観光事業者のご理解とご協力をいただき、積極的に課題解決を目指す。

関連質問 (梶原武) それぞれの湖ごとの対応状況は。

政策財政課長 当町には4つの湖があり、湖畔振興計画を策定し、湖の環境と調和した利用の実現を見据え、湖畔環境の望ましい姿を



親樹会 代表質問者
渡辺 元春

検討している。
先般、本栖湖については地元の方や事業者の合意形成を図った。

河口湖は検討すべき課題が多くあり、規範づくりには大変苦慮している状況である。しかし、今後もさらに山梨県と連携しつつ、河口湖の理想的な将来像の実現に向けた課題解決や環境保全について、関係者との粘り強い話し合いを継続し、合意形成を図る。その他の湖についても、順次できるところから協議を進めていく。

観光客増への対応は

質問 観光客増への対応は。

政策財政課長 登山者、来訪者に対して安全対策をとる。

環境保全のため、車の乗り入れ規制、清掃活動の促進、山麓での廃棄物、不法投棄防止のための監視体制の整備等を行っていく。

関連質問 (古屋一哉) 世界遺産登録後に

環境保全

質問 登録後の環境保全に対する町の考えと対応は。

政策財政課長 構成資産や緩衝地帯にかけられている文化財保護法、自然公園法や市町村の条例、景観法の遵守はもちろん、地域住民一体となった保全意識の向上や、住民、観光客、関係部署等とこれまでに以上に緊密な調整を図っていく。

関連質問 (渡辺余緒治) 5月25日、全町挙げての湖畔の清掃、またアレチウリの撤去の取り組みがあった。その成果と、今後の取り

は、インドネシアやタイからお客さんが相当数増える予想される。観光パンフレットにインドネシア、タイ語対応のパンフレットの作成ができないか。

観光課長 インドネシア、タイ言語での表記は我々も必要だと十分感じている。その方向で考えていきたい。

災害予測、防災対策の情報収集体制は

質問 地震、台風による降雨・土石流やけずれ、富士山噴火等の災害が予測される。これらの防災についての情報収集と避難勧告・指示のシステムは。

総務課長 気象庁、甲府气象台、県等が発表する災害情報、警報等を注視している。

地震についても情報源は同じであるが、テレビ、ラジオの発表がはやい。震度5以上の場合はジェイアラートからも情報がくる。

避難勧告・指示は防災無線放送が主であるが、地区消防団等の協力もいただいている。

関連質問（古屋一哉） 古い消火栓が錆等であけにくいものがある。また期限切れの消火器もあり、対策をとって頂きたい。

総務課長 消火栓については、速やかに点検を行い対策をとる。

消火器の実態を把握し、期限切れのものは順次内容の更新をする。

関連質問（渡辺余緒治） 災害時の水や食料の供給についての民間との災害協定の状況は。

総務課長 16団体と11件の民間協定を結んで

いる。協定内容は、飲料水のメーカー、ホームセンター、ドラッグストア、スーパーである。

小型家電リサイクル法の実施は

質問 使用済み小型電子機器等の再資源化の促進を図る法律が本年4月に施行された。小型家電リサイクル法とは、携帯電話や、デジタルカメラといった小型家電に含まれているレアメタルや貴金属を有効に再資源化するための仕組みであるが町の実施予定は。

環境課長 指定品目は28品目で、町が回収を決定する場合は、小型家電リサイクル法の認定事業者が必要となり、現在、当町内近隣市町村に当該事業者はいない。国の動向を注視、近隣市町村の対応を参考にして取り組んでいきたい。

関連質問（古屋一哉） 県下27市町村中21の市町村が移行に参加を表明している。町の方

向は。

環境課長 今後、検討していく。

デイサービス、ショートステイ、訪問介護サービスを行う介護施設の増設は

質問 地域密着型小規模多機能型居宅介護施設



介護サービス施設(小立)

設及び認知症対応型通所介護施設の事業見通しは。

健康増進課長 介護保険事業計画の中で整備を計画しているのは、平成25年度整備、26年度開設予定の小規模多機能型居宅介護施設1カ所と、平成26年度整備、27年開設予定の認知症対応型通所介護施設1カ所である。

関連質問（三浦康夫） 鳴沢村の富士山荘のように多床室、低額な小規模特別養護老人ホームで4人床が建設できないか。

健康増進課長 平成26年に次期介護保険事業計画を策定する予定である。その時点で、高齢者の実態調査及び介護サービスの利用意向調査を実施する予定である。その結果、高齢者のニーズを直接把握し、その結果を踏まえて事業計画を検討する。介護保険料とのバランスを考慮した上で整備計画等を検討する。

代表・関連質問



清陽クラブ

代表・関連質問

1 富士山噴火に対する 防災対策は。

質問 天庭の雪解け沢を改修して、融雪水災害に備える考えは。

都市整備課長 流末の水明荘アパートより上流に向かって河川の浚渫工事を実施する予定で、本年度コンサルタントを入れた中で、雨水排水対策計画策定事業を実施する。雪解け沢の改修工事は継続的に実施しており、今年度は八丁屋線水系対策として、県営住宅北側に配水池の機能のために浚渫工事を実施した。

再質問 今年の春先、北富士演習場の第9次使用協定が締結し、富士山保全法を制定すべく認識を持った。富士山保全法が制定された暁には、国が直轄事業として100%出資をして富士山の保全に努める法律の趣旨だと思いが、町長の保全法に対する取り組みは。

町長 富士山保全法により国の直轄で事業が進められることは、町に大変有益である。鋭意努力していきたい。

再々質問 富士山スバルラインを活用して、

船津の三差路までのトンネルの新設と同時に、天庭の雪解け沢の水を河口湖へ持ち込む方法で赤坂地区の浸水被害を防ぐ考えへの取り組みは。

都市整備課長 船津三差より富士スバルライ

ンまでのバイパス工事について、山梨県にバイパスの検討に関する要望書を提出した。今後、地域や沿線の方々の意見も踏まえ県と協議していきたい。



天庭の雪解け沢改修工事

2 企業誘致

質問 企業誘致の現状と今後について町長の方針は。

町長 企業誘致は雇用の拡大、地域産業の活



清陽クラブ 代表質問者
渡辺 喜久男

性化をに重要である。富士山世界文化遺産登録により、事業を操業する企業のイメージアップを期待している。本年度は企業誘致に必要となる三つの基盤整備を中心に行いたい。町内で利用できる土地の確保、パンフレットやウェブなどのPRツールの整備及び首都圏を中心とした関連機関との情報共有、あるいは連携の3点である。

土地の確保は、財産区有地で確保できる土地の調査を行った。民有地についても議員や、多くの町民の皆様情報提供等協力依頼をした。

第二に、紙媒体やIT関連での情報発信基盤の整備が必須である。現在パンフレットの作成及びIT分野への落とし込みを進めている。

第三に、総務省の事業の1つアドバイザー招聘事業を活用し、首都圏への企業誘致ネットワークを構築していく。

再質問 企業誘致は市町村だけでは難しいので、一般個人のルートを利用するのも一つの



誘致企業

手だ。山梨県では、県企業立地成功報酬制度を設けているが、個人に対する報酬制度がない。栃木県市貝町は成功報酬制度を創設しており、三社の進出に成功した。個人への報酬制度を今後どのように考えるか。また、企業立地アドバイザーの現状はどうか。

政策財政課長 個人の成功報酬制度は先進地事例を研修し、当町に適するか十分吟味して検討したい。アドバイザー招聘事業は、総務省の外部専門家制度を適用しての制度で一つの手段として活用する。

再々質問 企業誘致に補助制度はあるが、既

に操業している企業が新規の事業に着手する場合には補助制度がない。異業種への事業参加にも補助制度を設けるべきで、既に当町で活動している企業の新規事業着手にも支援制度を設けるべきだ。

政策財政課長 異業種交流は農業への参入が一番適していると考ええる。例えば、建設会社や農業を行う場合には、施設栽培や農業受託への参入は容易であるが、新たに農地を取得して土地利用型農業を行うには、農業法人を設立したり特区をつくる、その二通りがある。いずれも非常に大きな案件であるので、異業種交流を念頭に、さまざまな観点から模索していきたい。

クニマスの展示館について

質問 絶滅したとされたクニマスが西湖で見られ、一大センセーションを巻き起こしたが、今日、その高まりも下火になってきた。クニマスの展示館がないということが一番の理由ではないか。町長の所信では建設は28年度であるが、早急な展示館建設についての再度の町長の考えを。

町長 今年度は山梨県でクニマス展示施設に係る予算計上され、町と共同して調査事業が始まった。地元での常設展示は子供たちへの郷土学習や環境学習への関心をより一層深め、観光振興の推進に多大な成果をもたらす。

代表・関連質問

再質問 魚の展示のみならず、売店の併設も考え、商品一つ一つに、キャッチフレーズも使われるので、売上の何%かは、クニマス育成基金に積み立てられていることをうたい、購買意識を高める売店の併設等は考えられるか。

政策財政課長 特産品、販売所の要望については、山梨県の展示施設計画と並行し、市内のクニマスプロジェクトチームの中で検討課題していく。

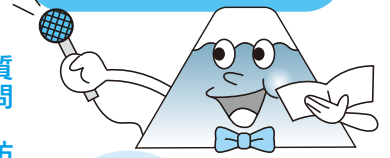
県の森林環境税の現況は

質問 平成24年度より県が導入した森林環境税は、均等割県民税に超過課税として個人で500円、法人は均等割額の5%を課税徴収するものだ。一年経過し、その目的である森林の整備のための除間伐等が行われ町に恩恵があったのか。

農林課長 町内の森林環境保全推進事業を行っている富士北麓森林組合に確認したところ、平成24年度に大石財産区所有地、個人への貸付地を含み、20・4ヘクタールの間伐を行った。事業費は775万円、内訳は国の補助金が343万円、県の補助金が114万円、森林環境税が318万円だった。

再質問 今後当町に割り当てがあるか、その計画は。

農林課長 25年度は、大石地区で35ヘクタールを実施する予定である。事業費は1218万円、森林環境税は530万円である。



情報発信の手段は 多角的に

質問 防災・防犯情報を提供している安心安全メールを防災無線の内容や行政情報の内容も送信できるよう検討していただきたい。また、防災無線が地域では聞こえても聞き取りにくい人のために、CATVのテロップで流すなど、多くの方に様々な情報をキャッチしていただくような取り組みをお願いしたい。

総務課長 安心安全メールの名称や配信内容の調整を図り、防災無線情報や行政情報の送信を実施していきたい。また、CATVは町民の多くが見ているため、防災行政無線の内容を確実にお茶の間に届けることが可能。一部問題があるが速やかに実現したい。

国際交流の取り組みは

質問 富士山世界文化遺産の登録が確実となり、国際交流をどのように考えているのか。当町と共通点がある海外の都市と国際交流をしていく考えはあるのか。また、語学の堪能の方に、海外からの来訪者への対応をお願いする人材バンクをつくる考えはあるか。

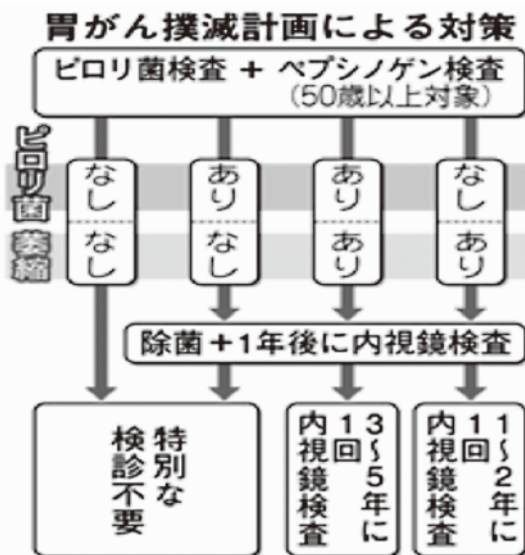
政策財政課長 国際交流ワークショップを開設し、世界文化遺産地域としての有り方を検討するなかで、当町との国際交流が可能な都

一般質問

市も模索していく。また、国際化社会に即した人材育成およびまちづくりを目的に通訳・翻訳ができる方にボランティア登録をお願いする。

胃がんリスク検査とピロリ菌除菌で胃がん撲滅を

質問 胃がんの原因は95%がピロリ菌だ。検査の方法を従来のバリウムを飲んで行うX線検査から採血でピロリ菌の有無や胃粘膜の萎縮がわかるリスク検査に切り替え町民の胃が



んの早期発見早期治療につなげるべき。
健康増進課長 国や県が定めるがん検診指針でバリウムX線検査を行っている。今後、国の動向を見守りたい。

町営住宅連帯保証人の 見直しを

質問 町営住宅の連帯保証人は町内在住の方2名と厳しい条件がついている。公営住宅は低所得の住宅困窮者のための住宅であることから、制度の趣旨からも町外の方も可能となるよう見直しを。

都市整備課長 申請時に状況を確認し、1名は町内もう1名は近隣でも承認するケースもある。連帯保証人は緊急時の保護者としての役割もあり、当面は現行の運用としたい。

○その他の質問 婚活イベントについて



一般質問者
佐藤 安子

01 小規模工事等契約希望者登録制度の活用を

質問 130万円以下の工事などについて、小規模企業・業者の受注機会を増やす目的の小規模工事等契約希望者登録制度。平成23、24年度の130万円以下の契約は何件で、そのうちこの制度登録者との契約は何件か。

総務課長 平成23年度は398件の契約のうち23件が登録者との契約。同じく平成24年度は、354件のうち34件。

質問 登録者との契約が大幅少ない。登録者は何人(社)だったのか。そのうち契約が2年間でゼロという方はいたのか。

総務課長 登録者31人(社)のうち、契約ゼロは15人(社)。

質問 登録者のうち半分が契約ゼロ。制度が生かされていない。小規模企業・業者の仕事を増やす努力を。

町長 小規模企業・業者に視線を配るよう、役場内にさらなる徹底をする。

02 勝山保育所の増築、船津保育所の増設を

質問 定員120人を上回る126人の児童を受け入れている勝山保育所の増築を。また、船津保育所は、国の最低基準(図1)は満たしているが、欧米と比べても不十分な基準である。また、ホールが狭いこと、建物が老

図1 国が定める保育所設備の最低基準(抜粋)

	満2歳以上の幼児1人あたりの面積基準
保 育 室	1.98平方メートル(畳約1.2畳分)
屋外遊戯場	3.3平方メートル(畳約2畳分)

図2

第4段階以上(住民税課税世帯)の特養ホーム入所者の1ヶ月(30日)分の負担額の目安(おおむね各種軽減制度を適用したあとの金額)

	サービス利用料	居住費	食 費	合 計
多 床 室	37200円	9600円	41400円	88200円
ユニット型個室	37200円	59100円	41400円	137700円

※国の基準費用額に基づいて計算したもので、実際の負担額は施設により異なる。

03 介護サービス利用者負担の軽減を

質問 「妻を介護度4で施設にあずけているが、月11万円の支払いが大幅」など、特別養

朽化していることなどからも、増設を検討するべきだ。

福祉推進課長 本年7月に立ち上げ予定の町保育所整備計画検討委員会において検討し、結論を出していく。

一般質問



一般質問者
山下 利夫

護老人ホームなどの利用者負担は、大変重い(図2)。この声にこたえ、負担軽減の充実を。

町長 各種減免制度を適用しており、現在、軽減は考えていないが、その趣旨はしっかりと受けとめ、慎重に検討していく。

04 防災無線の改善、防災ラジオの普及を

質問 防災無線が聞こえづらい、という声が多い。私も度々提案し、当町でも防災ラジオ(家のなかで防災無線が聞ける)が昨年度500台、今年度500台予算化され、普及が始まっているが、より普及するために、希望者への販売も検討しては。

総務課長 防災ラジオは、現在、高齢者のみ世帯などに、町からの貸与の形で配布している。販売については、他市町村の事例も参考し検討したい。

委員会 レポート

常任委員会の活動状況を報告します。

一般会計補正予算(第3号)

総務課関係

質問 足和田コミュニティセンター臨時職員の人件費について。昨年度までは、課長補佐クラスの所長が配置されていた。今年度から臨時職員に置き換えだが、出張所としての役割が果たせるのか。

政策財政課長 行財政改革の一環として断行した。いまのところ、問題は起こっていない。
再質問 合併してまだ10年。さまざまな地域課題もある。正規職員を配置すべきではないか。

政策財政課長 そういうご意見もある。地区の皆様とも協議し、総務課を中心に全庁を挙げて、補完体制を確保していく条件のなかで、実施している。

水位低下で消防道路が 使えない

質問 河口湖の水位低下により、消防道路の何か所かが、機能を果たさない状況になっているので、対応を。

総務課長 状況は、担当としても確認している。しかし、許認可をとるのに相当日数がかかる、大雨で増水すれば工事ができなくなる、などの問題がある。検討課題としたい。



防災ラジオ

合併時の新町建設計画 の進捗状況は

政策財政課長 おおむね計画的にすすんでいるが、地域の皆様の理解のもとに、白紙にさせていただいた例もある。7月に検討委員会を開いて、進捗状況を検証していく。

防災ラジオを受け取りに 来られない方への配布は

質問 先日、役場ロビーで防災ラジオを75歳以上などの世帯の方に配布していたが、すべて配布は終わったのか。

総務課長 75歳以上の方、障がい者など対象となる400世帯のうち約6割に配布が完了している。受け取りに来ていない方には、今後速やかに何らかの方法で配布をしたい。

再質問 役場に来られない方への配布は。

総務課長 小立、大石、河口の福祉センターや出張所でも配布している。それでも来られない方は、民生委員等をお願いして配布したい。

町広報の要援護者世帯への配布継続を

質問 現在、自治会未加入世帯には、広報をシルバー委託で配布している。これを今年10月に廃止すると広報4月号に掲載されたが、目的は。

政策財政課長 災害時の共助のために、自治会に加入していただきたい。さらにシルバー委託に200万円以上かかっていることからである。

再質問 広報配布と自治会の問題は別に考えるべき。10月には未加入世帯4割に、広報が届かなくなる可能性がある。どうやって町の情報をお届けするのか。特に要援護者世帯には配布すべき。

政策財政課長 公共施設に置いて取りにきていただく。今後は、フェイスブックなどへの掲載、コンビニに置くことなども検討したい。要援護世帯やどうしても受け取りに來られない方には、配布していく考えだ。

自治基本条例のPRは

質問 自治基本条例の周知について、町長はさまざまな手法で住民にPRしていきたいとのことだが、どのような方法で広めていくのか。

町長 地域住民との懇談などを通して、必要

と思われるところから始めている。今後住民へのPRは、役場内部で検討委員会を設ける予定でいる。

私用の携帯電話・車の取扱いは

質問 職員が仕事で使う私用の携帯電話の料金と、公用車がない場合に私用車を使ったときのガソリン代はどうなっているのか。



町内巡回バス

総務課長 私用車を使った場合、1キロメートル当たりの単価で計算し、旅費として精算をしている。携帯電話の場合は、なかなか公私の把握が難しいということもあるが、担当部署の実態を確認して検討をしていく。

クニマスの展示場は

質問 地元のコンセンサスを得て、クニマスの展示場が早めに行えることを望むが。

町長 クニマスの展示施設については、県に施設建設への取り組みを働きかけ、本年度予算に調査費を計上するところまでこぎつけた。今後具体的な段階に入るので、地域住民との意見を集約する方向で当面努力していく。

町内巡回バスのPRを

質問 町内巡回バスの乗車率が低く、まだPR不足という面があると思うが。

政策財政課長 町内巡回バスは、5月1日から平日を運行している。1カ月間で60数名の乗車があった。原因説明ができていないが、今後PRの努力をしていかなければならないと考えている。

要援護者の福祉避難所は

福祉推進課長 8 医療・福祉施設で積極的に協議をしていく。避難所の一覧表を来年度には作成したい。

小学校トイレの洋式化は

学校教育課長 まだ和式トイレが残っているが、今後の整備として、本年度は大石小学校を予定している。計画年度等は定めていないが予算の範囲内で順次洋式にかえていく。

インターハイ

質問 来年度町で行われるインターハイの準備状況は。

生涯学習課長 高校のボートとカヌーの先生に、週3日で勤務をお願いしている。施設整備については県の総体室と共に、来年に向けて準備を進めている。

質問 万が一湖の減水が続いた場合には、ボート競技への影響があるのか。

生涯学習課長 湖を掘削してコースを確保するかまたは、900メートル競技として行い、減水への対応をしていく。できるだけ1000メートルが確保できるよう、いろいろな部局と協議をし対策をとっていきたい。

質問 北中以外の生徒もボート競技ができるよう、河口湖ボートクラブの設置を。
町長 その組織づくりを進めて行きたい。

環境美化に関するイベントは

町長 今後も継続的に行われるように取り組んでいきたい。



富士山河口湖音楽祭2012

ステラシアター

質問 ステラには年間幾つのイベントがあるのか。

文化振興局長 今年度、富士山河口湖音楽祭関係で、大小含め44のコンサート等を予定している。そのほか国民文化祭の関係が4コンサート、ステラシアターの事業が、ポップス系を含めて7事業ある。

再質問 イベントごとの決算状況は。

文化振興局長 24年度決算をまとめたところ、利益が出ている部分はない。補助金で赤字を補填する形になっている。

船津地区の福祉センター

質問 船津地区の福祉センター建設の進捗状況は。

福祉推進課長 検討委員会を2回開催した。並行して、主たる利用者である船津老人クラブとの会議を4月以降4回開催し、1階建てということで協議中である。設計ができ次第、会合をもち協議は終了する。検討委員会を開き基本計画を固める。

再質問 芙蓉の湯は、直前まで営業をするのか。

健康増進課長 実施設計ができるまでは営業していく。その後芙蓉の湯の部分の設計を盛り込み、公民館全体としての建物の工事になる。

河口の遺跡状況は

質問 埋蔵文化財調査が4月当初から2カ月半たっても着手していない理由は。

生涯学習課長 表土が2メートルほどあり、これを取り除いて発掘する。その土は道をつくるために持ち出すということに変更になっている。

再質問 調査の期間はどのぐらいか。

生涯学習課長 7月から始めて10月に終わる。

再質問 発掘した後はどのようにするのか。

生涯学習課長 埋蔵物は河口地区付近に保管する。

世界文化遺産課の設置は

町長 対応できるような体制づくりを、検討していきたい。

質問 構成資産を担当している課の状況は。

生涯学習課長 担当は生涯学習課で、正職員1人と臨時職員で対応している。

各地区への花の配布状況は

環境課長 年間1千万円の予算を計上し、現在40自治会へ配布している。

太陽光の設置状況は

環境課長 当初予算700万円を計上し、現在24件の設置で、約340万円の予算を執行している。予算をこえる設置希望者がある場合は、補正をしていく予定である。



まちなみ花壇

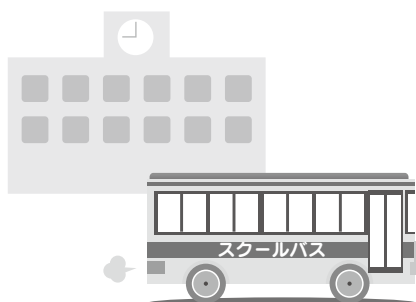
子ども子育て会議の設置予定は

福祉推進課長 設置に向けた条例を9月に提案する。条例制定後、子ども子育て会議を設置する。

勝山小・中学校のスクールバスの運行は

質問 予算計上されているが、いつから新しいバスが運行できるか。

学校教育課長 できるだけ早い運行を目指す。



富士ヶ嶺バイオセンター の状況は

質問 富士ヶ嶺バイオセンターの修繕費が今回の補正であがっているが、いつ壊れたのか。

農林課長 24年度から壊れていたが、今年に入り修理が必要な箇所が出て5月に再度見積を取り直した。

再質問 富士ヶ嶺バイオセンターの修繕費が毎年1千万円単位でかかっている。施設の状況はどうなっているのか。

農林課長 第1発酵槽が全然稼働していないので、もう一度修理が必要になる。来年度、指定管理更新の年に当たるので今年度中に修理を完了したい。

再質問 富士ヶ嶺のバイオセンターの指定管理者は。

農林課長 21年から今年までは、クレイン農協に管理を指定委託している。

再質問 富士ヶ嶺地区には、酪農家は何軒あるのか。

農林課長 45軒あり、うち24軒が富士ヶ嶺バイオセンターを利用している。

提言 今回も一般財源から1100万円をかけて施設を直すということであるが、多くの酪農家に利用していただき、施設の管理運営がスムーズに行えるよう努力していただきたい。

地籍調査の早期完了を

質問 地籍調査担当が異動になったが、担当者は専門的な知識が必要ではないか。

農林課長 新しい担当者は法務省や県の講習会を受講している。

再質問 地籍調査を早く完了して、固定資産税へ反映できれば町にメリットになるが。

農林課長 地籍調査が終わっても、法務局へ



雑草が生えている町管理の公園

届出し、登記が完了しないと固定資産税には課税できない。

船津登山道の整備状況は

観光課長 近年船津登山道は風倒木が多く登山者が登る様な状況ではない。世界文化遺産やノルディックランのイベントを実施することになり、整備が必要となった。

集合看板の設置状況は

都市整備課長 勝山地区の横道に入るのに看板がなくわかりにくいので、船津地区の一条、二条通りというような看板を設置する。

再質問 集合看板の年次計画はどうなっているか。

都市整備課長 計画通り進めている。本年は出口線と本栖地区に設置する。

おもてなしの心

質問 おもてなしの心からも、世界文化遺産登録を機に、公園や観光客用のトイレの廻りが雑草で見苦しいので、財政上厳しいのであれば、地域の皆様に積極的に管理をお願いを町から発信することは。

町長 地域の協力が得られるように、繰り返し呼びかけながら努力していく。

通学路の安全対策は

質問 大石小学校東の道路にポールが設置されたが、目的は。

都市整備課長 通学路の安全点検で指摘があり、警察と公安委員会の立ち会いで設置されたもの。

再質問 地域住民の声は聞いたのか。

都市整備課長 学校からの提案である。

再質問 県道から右折する車と町道から左折



ゼブラゾーン

する車で危険が増しているが。
都市整備課長 将来的には歩道が拡幅される道路で、今回の形が基本的なものとなる見込みである。

水道の有収率は

水道課長 23年度末時点、63・4%である。

質問 この数値から4割ぐらいは漏水していることとなるが、昨年度、漏水調査によって発見された漏水箇所は。

水道課長 9カ所発見し、修理は終わっている。

質問 漏水の改善によって動力費等が一カ所あたり10万円削減されるが、町の対応は。

水道課長 4月の料金改定より、平成34年を目標に10年間で老朽管の耐震化を進める予定であり、有収率を75%まで向上させたい。

雨水対策の現状は

質問 雨水排水対策の計画を今年度策定するが、進捗状況は。

都市整備課長 調査に基づかないと補助金申請ができないので、早めに入札を執行し、今年度中に調査を終了したい。

再質問 雨が降れば、すぐに側溝が詰まり、溢れ出すような箇所も相当数あるので、業者に委託して、早急に側溝機能を解消する必要があると思うが。

都市整備課長 側溝の掃除については、基本

的には、地区の皆様管理の協力をいただきたい。雨水経路の集中するところについては、現場を確認し、小規模事業登録制度を利用し、側溝のつまりを取りのぞいている。

いやしの里の滞納額の状況は

観光課長 現在、権利の放棄の分含め687万4121円が収入未済額となっている。納付が見込めないものが1件で130万円ほど残っている。それ以外の部分については、平成31年3月を見込んで完納になる予定である。

野鳥の森の管理

質問 野鳥の森公園の管理棟の展示品にほこりがついていたり、展示も雑然としていて、汚いイメージがあるが。

観光課長 1名の職員が草取りなどの外回りから、体験学習の指導もするという状況で管理に追われているのは事実である。今後担当含め、観光課で検討していく。



議会改革推進特別委員会

進捗状況

—議会基本条例制定に向けて—

別表1 富士河口湖町議会基本条例（案）

前 文	
第1章	総則
第2章	議会及び議員の活動原則
第3章	委員会の活動
第4章	議会と町民との関係
第5章	議会と町長等との関係
第6章	自由討議の拡大
第7章	政務活動費
第8章	議会及び議会事務局の体制整備
第9章	議員の政治倫理、身分及び待遇
第10章	議会災害対策本部
第11章	最高規範性と見直し手続



進藤教授(左)と横田教授(右)

平成23年6月14日第2回富士河口湖町議会定例会において、全会一致で可決して議会改革推進特別委員会を設置しました。

議会改革として、常任委員会、予算及び決算特別委員会の公開をはじめ、議員が2つの常任委員会へ所属できるように変更しました。さらに議会改革推進特別委員会を第1分科会「学ぶ議会について」、第2分科会「行動する議会について」、第3分科会「議会基本条例について」の3つに分けて、それぞれのテーマに沿って調査研究をしてきました。

平成25年度に入り、最終目標であります「富士河口湖町議会基本条例」の制定に向けて8人の委員と、4月11日に都留文科大学横田力教授、進藤兵教授との協議を皮切りに、4月25日、5月9日、5月23日、6月6日、6月20日、7月4日、7月25日と合計7回、都留文科大学で原案づくりを進めています。

前文については、まず条例制定と町の背景、町民の代表機関として議会のあるべき姿を描き、最後に、条例は議員と議会の活動の最高規範であると結んでいます。



都留文科大学図書室での議会基本条例検討状況

5月15日から17日の3日間にわたり、宮崎県・鹿児島県に視察研修を実施しました。

今回の研修は、富士山噴火を想定とした「防災対策」に重点をおいた研修になりました。

議員視察 研修報告

宮崎県都城市
鹿児島県垂水市

都城市視察研修

宮崎県での研修は、平成23年「新燃岳噴火」を経験した都城市において火山噴火災害に対する危機管理体制について取り組みを研修しました。都城市は宮崎県の南西部に位置する人口16万9千人の南九州の拠点都市です。

研修では、噴火発生から噴火活動の経過および農業被害・降灰被害・人的被害および降灰除去作業等の実



都城市での研修

垂水市視察研修

態の説明があり、市が行った土石流対策対応および避難計画・情報伝達体制等の具体的な事例を学びました。富士山噴火災害対応を考える上で大変有意義な研修でした。

鹿児島県での研修は、垂水市において台風・地震・火山噴火など災害全般にわたる防災への取り組みを研修しました。



噴煙が起きている桜島

垂水市は、鹿児島市の対岸「桜島」の付根に位置する人口1万7千人、青い海と緑の山に囲まれた自然豊かなまちです。

研修では、過去30年間の災害の記録とそれに対応する危機管理体制の取り組みについて説明を聞き、特に台風・豪雨・桜島噴火は必ず発生することが前提での情報伝達ツールの構築・自主防災組織の充実・総合防災訓練の実施・災害時要援護者対策など自然災害の多いまちならではの工夫をこらした取り組みを学びました。小さなまちならではのきめ細かな取り組みは大変参考になりました。

研修最終日は、南九州市にある「知覧特攻平和会館」を研修し戦争のむなしさ・平和のたいせつさ・ありがたさ・命の尊さについてあらためて考えさせられました。

視察研修を快く受け入れていただいた都城市・垂水市の皆さんには、大変お世話になりました。

一万人の清掃活動



富根都クラブ
高田 稔
(船津)

静岡、山梨両県にまたがる富士山がユネスコ世界遺産となり、長く美化活動に携わってきた私たち富根都クラブにとっても大変喜ばしい未来への幕開けとなりました。

地方都市の人口減少、商店街の閉塞感を少しでも活性化させようと活動してきた折り、あまりに湖周辺の環境がユネスコ世界遺産登録を目指す中、世界に胸を張れるような河口湖ではない事をクラブ員全員が感じ、月二回の集会で話し合った事は、「まずは畳岩から」でした。

幼い頃、夏になれば畳岩から湖に飛び込んで遊んだ面影はどこにもなく、大きな流木、雑草が生い茂り歩く場所すらない有様でした。

年二回清掃活動する中で、地域の皆様に広報での呼び掛けにより年々ボランティアが増え、今年、5月25日の一万人の清掃活動では、船津小、湖南中から



畳岩での清掃活動風景

一般のボランティアの方々の協力で美しい昔の様な畳岩が蘇りました。登録活動後、大勢の観光客が訪れています。ただ観光客が来て活性化となっています。ただ観光客が来て活性化となっています。たど喜んではいられません。町民一人ひとりが自然を守りながら登録に恥じない今以上の環境を作っていく必要があると思います。

私達クラブも年二回の参加人数を大きく増やし、地域の一大イベントに育てていくつもりです。

また、町民の皆様のお借りし、世界に誇れる町にする努力を進めて行こうと思っております。

編集後記

6月22日、富士山が世界文化遺産に登録されました。表紙の写真は登録決定翌日に町民が集まり登録を祝して223個の風船を大空に飛ばしている様子です。

文字通り「日本の富士山」から「世界の富士山」になり8つの構成資産がある富士河口湖町も世界の注目が集まっています。大変誇らしく喜ばしい気持ちと同時にわれわれ町民全員が現在の景観や自然を次世代に守っていくなくてはならない任務をまかされたという責任の重大さを感じます。「窓」で紹介しました「富根都クラブ」のように

議会を傍聴しませんか 次の定例会は9月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。
入口には注意事項が掲示されています。

町内の清掃活動・美化活動などに議会も町民の皆さんと力をあわせ環境保全に努力していきたいと思っています。さて今号は、議会広報常任委員会になってから4号目の「議会だより」発行です。議会活動を町民の皆様にはわかりやすく、住民目線で読みやすく、読んでみたくなる広報誌を目指して編集しています。今号が現委員体制での最後の編集です。次号からは新委員体制で編集することになります。が、これからも議会と町民をつなぐ広報誌になるよう努力していきます。本誌に対する皆様の忌憚のないご意見・ご感想・ご要望をお寄せください。

(渡辺洋・記)

●議会広報常任委員会
委員長 渡辺 洋
副委員長 堀内 昭登
委員 渡辺 元春
佐藤 安子
小佐野 快
山下 利夫
古屋 一哉
小川 清治
駒谷 隆利

